

エコアクション 21 環境活動レポート

(取組期間：2015年4月～2016年3月)



株式会社 平野

発行日：2016年5月31日

[目次]

表紙	1
目次	2
1. 組織の概要	3
1) 事業所名及び代表者氏名	3
2) 所在地	3
3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	3
4) 事業活動の内容	3
5) 事業規模	3
2. 実施体制と役割分担表	4
1) 実施体制	4
2) 役割分担表	4
3. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	5
4. 環境宣言	6
5. 環境目標	7
6. 環境活動計画	9
7. 環境目標の実績と評価	10
8. 環境関連法規への違反・訴訟の有無	17
9. 環境活動計画の取組結果とその評価	18
10. 代表者による全体評価	19

1.組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 平野 代表取締役 平野啓三

2) 所在地

平野屋薬局(本店) 〒794-0028 愛媛県今治市北宝来町 2-2-22
平野調剤薬局 〒794-0028 愛媛県今治市北宝来町 2-4-3
平野ときわ薬局 〒794-0055 愛媛県今治市中日吉町 2-7-48
平野八町薬局 〒794-0831 愛媛県今治市八町東 2-4-39
平野拝志薬局 〒799-1502 愛媛県今治市喜田村 6-5-14
平野グリーン薬局 〒799-1522 愛媛県今治市桜井 4-12-27
平野あさくら薬局 〒799-1603 愛媛県今治市朝倉下甲 452-3
平野ごう薬局 〒794-0826 愛媛県今治市郷新屋敷町 3-1-42

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名：松田 泰幸

担当者連絡先：0898-32-0255

4) 事業活動の内容

保険調剤(電子薬歴導入)

薬局製剤および要指導・第一～三類医薬品の販売

在宅薬剤管理業務実施

禁煙相談等

5) 事業規模

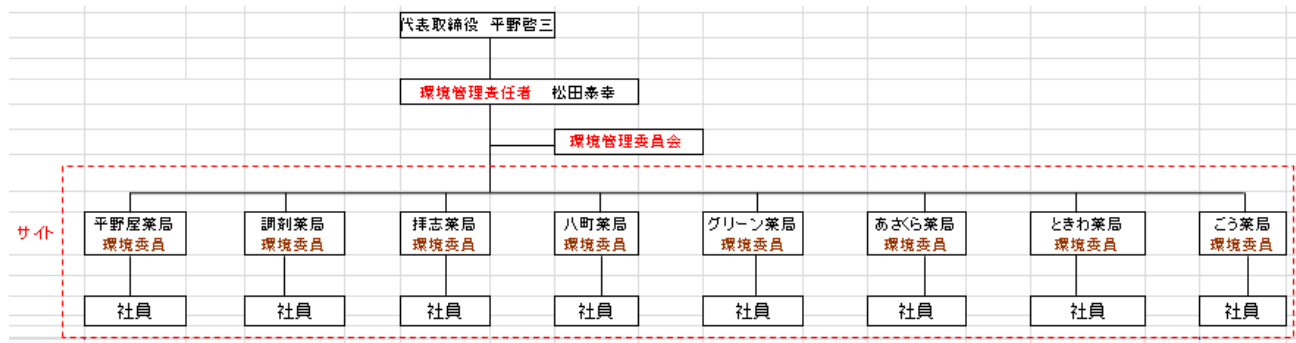
資本金：3000 万円

営業拠点：今治市中心に調剤を主とした薬局 8 店舗

従業員：薬剤師 18 名、事務 13 名、栄養士 1 名

2. 実施体制と役割分担表

1)実施体制



2) 役割分担表

責任者	役割
代表取締役 (環境経営に対する 総括責任者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任(エコアクション21の全体的な取り組み状況を把握し、環境活動が円滑に推進されるように、適切な指示・評価・見直し等を行う)。 エコアクション21実施に必要な資源(人員・費用・時間・設備・技術等)を準備する。 環境管理責任者を任命する。 環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知を行う。 環境目標、環境活動計画書を承認する。 環境関連法規等の遵守評価の承認。 緊急事態への対応のための手順書の承認。 同友会等でのエコ活動事業に積極的に参加し、最新情報や、他社の環境への取り組み状況等を学び、社員に伝達する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し、維持・管理する。 環境関連法規等の取りまとめ表を作成し、遵守評価を実施する。 環境目標、環境活動計画書を作成する。 環境経営システムの構築・運用状況を、定期的に代表者・社員に報告する。 緊急事態への対応のための手順書を作成し、施行・訓練を実施し、記録を作成する。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、エコアクション21の事務局 定期的に開催し、各店舗での実施状況を共有し、改善策、必要な措置等について話し合う。 データの集計等を行う(環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施、) 環境管理委員会の取り決め内容を踏まえて、環境活動レポートを作成し、公開する(事務所に備付けと地域事務局への送付)。
各店環境委員	<ul style="list-style-type: none"> 各店舗での環境活動が円滑に推進されるように、管理、統括、情報の伝達等を行う(環境方針の周知、環境活動計画の実施及び達成状況の報告)。 環境管理委員会に出席し、担当店舗の情報を提供する。 各店舗の問題点を把握し、是正、予防措置を実施する。
社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針への理解と環境への取り組みの重要性を理解し、環境システムについて問題点、改善策等を各環境委員に報告する。 グループウェア等で、環境管理委員会の動向を把握する。 エコ検定を受験したり、日ごろからエコに対して関心を持ち、エコに対する知識を深める。 環境経営システムの自主的・積極的な参加の実践。

3. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発効日

1) 対象範囲(認証・登録範囲)

薬局では環境活動の対象を、薬局事業全体とし、それに関わるすべての組織をその活動の対象としています。ただし、2015年度は2015年7月に開局した平野ごう薬局について認証・登録の範囲には含めず、環境活動のみを行って2016年度からの計画に対象として含めるためのモニタリングを実施しました。

活動は、薬局既存の組織体制を活用しながら、店舗ごとに活動単位を構成しています。各店舗に現場担当者“環境委員”を配置し、経営指針会議、環境管理委員会、グループウェアでの意見交換等を通じ、コミュニケーションを図っています。

それぞれの薬局の責任者である薬局長とは朝会等を通じて情報の伝達を行い、活動の連携・強化を図ります。各職員に対しても、随時情報を提供し、意見交換を行います。

2) レポートの対象期間及び発効日

レポートの対象期間 : 2015年4月～2016年3月

レポートの発効日 : 2016年5月31日

4. 環境宣言

《基本理念》

平野薬局は、環境に影響を及ぼす物質の使用・排出削減に努め、健康で環境にやさしい生活習慣の提案とその実践に役立つ商品とサービスを提供し、地域の皆様のQOL（生活の質）の向上に貢献できるよう、エコ活動に積極的に取り組みます。

《基本方針》

①社員・経営陣の意識向上

一人一人がエコ活動を積極的に実施できるよう、社員教育・組織体制の整備等を通じ、社員・経営陣の地球環境保全に対する意識を高め、環境基本理念、基本方針を共有する。

経営者のネットワークを活用して、エコ活動の幅を広げる。

②薬局・薬剤師の職能を活かす

地域の皆様の相談に応じられるよう、専門的知識の習得に努める。

医薬品管理を徹底し、廃棄薬剤を減らす。

③環境関連の法を遵守する

環境に関する法律・政省令・条例等を遵守し、環境保全の向上に努める。

④省エネルギー・省資源・廃棄物の削減を推進する

電気・ガス・水道等のエネルギー使用量、紙類・レジ袋使用量等の削減に取り組み、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出総量、廃棄物等の削減に努める。

⑤グリーン購入を推進する

事務用品等の購入時には、環境への影響を考慮し、グリーン購入を心がける。

⑥地域の自然環境との調和を目指す

地域の環境保全活動、社会貢献活動等にも積極的に参加し、美しい地域環境作りに貢献する。

⑦環境啓蒙活動を展開する

環境宣言を全従業員に周知するとともに、環境情報や環境保全の重要性を積極的に社外へも公表・発信する。

H23.4.3 制定 株式会社平野 代表取締役 平野啓三

5. 環境目標

1) 中長期目標

中期目標については2013年度に再設定した、2011年の基準年に対して2013年度（-5%）、2014年度（-6%）、2015年度（-7%）を目標に掲げて環境活動に取り組んだ。ただし、二酸化炭素排出量の削減項目のひとつであるガソリン使用量については、患者宅や施設への訪問件数の増加に伴ってガソリン使用量が年々増えており、基準年を下回る目標設定は妥当でなかったため2014年度から目標値を見直した。ガソリン使用量は増加するがエコドライブの推奨等の取り組みによって可能な限り増加を抑制するよう目指して、ガソリン使用量目標を昨年度実績使用量に設定した。そのため、二酸化炭素排出量の目標値も設定し直した。

項目	単位	2011年度(基準年)	2013年度 (-5%)	2014年度 (-6%)	2015年度 (-7%)
二酸化炭素排出量の削減 ※1	kg-CO2	43845	41653	42755 ※3	41686 ※3
廃棄物排出量の削減 ※2	kg	5482	5208	5153	5098
水総使用量の削減	m ³	499	474	469	464
グリーン購買の推進	品目	-	10品目以上	10品目以上	10品目以上
組織本来の取り組み		-	毎月「医薬だより」にエコ関連記事を掲載	毎月「医薬だより」にエコ関連記事を掲載	毎月「医薬だより」にエコ関連記事を掲載

※1. 電力のCO₂発生量については、四国電力の実排出係数0.326(kg-CO₂/kWh)を使用した。(四国電力発表平成22年度実績に基づく)

※2. 2011年度(基準年)の廃棄物排出量については、2012年1～3月までの測定に基づいている。

※3. 在宅業務増加に伴いガソリン使用量目標を2014年度から見直したため、二酸化炭素排出量の削減目標も変更。

6. 環境活動計画

1) 二酸化炭素排出量の低減

- ・夜間、休日はパソコン、プリンター等の主電源を切る。
- ・空調の適温化に努める。(医療機関であるため、患者さんが不快でない温度設定。また夏場高温になる日中の適正な医薬品温度管理)
- ・片づけを始める前に冷暖房を停止する。(装置内の熱を有効利用)
- ・ガソリンの使用量を削減する。(加減速の少ないエコドライブの推奨、定期的にタイヤの空気圧を点検)

2) 廃棄物排出量の削減

- ・グループウェア・メールの利用等、文書の電子化に取り組む。
- ・メモ用紙などは裏紙を使用し、封筒の再利用等を行なう。
- ・薬品購入の包装単位を検討し、廃棄する空箱・段ボール等の量を減らす。
- ・適正な在庫管理により、廃棄薬を減らす。

3) 節水

- ・節水ポスターを掲示し、手洗い、洗い物、歯磨き等において日常的に節水を励行する。

4) グリーン購入の推進

- ・新しい事務用品を購入する際にはグリーン製品があるか確認し、優先的に購入する。
- ・グリーン製品に切り替えた消耗品は継続して購入する。

5) 組織本来の取り組み

- ・在宅訪問した際にエコに関するアドバイスをする。
- ・医薬便りにエコに関するページを毎月掲載する。
- ・平野健康まつりでエコブースを設置し(株)平野での環境への取り組みや、残薬が環境に与える影響について知ってもらう。

6) レジ袋の削減

- ・包装の簡易化やエコバック持参の呼び掛けを行なう。

7) エコピープルの育成

- ・社員全員が環境社会検定試験(eco 検定)の合格を目指す。

8) 防災対応

- ・防災対応マニュアル・フローチャートを活用して防災訓練を実施する。
- ・緊急時連絡網を作成し、非常時の訓練を行う。

9) その他、薬局や家庭での個人の取り組み

- ・マイバックやマイ箸を携帯する。
- ・太陽光発電の設置や低燃費車の購入を推奨する。
- ・薬局や各家庭でのグリーンカーテンを設置する。

7.環境目標の実績と評価（取組期間：2015年4月～2016年3月）

1) 二酸化炭素排出量の低減について

項目	単位	目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	41686	目標	12383			13614			15689			41686			
			実績	9875.2			11077.7			12261.8			33214.7			
			評価 [○or×]	○			○			○			○			
購入電力 ※1	kWh	93667	目標	28812			31046			33808			93667			
			実績	20836			23506			26264			70606			
			評価	○			○			○			○			
ガソリン使用量	リットル	4071	目標	1276			1501			1294			4071			
			実績	1317.4			1464.4			1403			4184.8			
			評価	×			○			×			×			
灯油使用量	リットル	636	目標	1			3			632			636			
			実績	7			5			122			134			
			評価	×			×			○			○			
ガス使用量	㎡	55	目標	13			2			40			55			
			実績	8			6			56			70			
			評価	○			×			×			×			

※1. 電力のCO₂発生量については、四国電力の実排出係数 0.326 (kg-CO₂/kWh) を使用した。(四国電力発表平成22年度実績に基づく)

【考察】

購入電力に関しては、前年度に引き続いてタイムマネジメント表を利用して不要な電気をこまめに消灯し、待機電力の削減などに努めた。日中の室内の温度が高くなる夏場は、薬品を適正な温度で管理するために薬局が営業していない日曜や祝日などの休日にもエアコンを稼働させていた。しかし、日常的に節電が行えていることや暖冬により暖房の使用する時期が例年より短かったこともあり、基準年比 **-24.2%**、前年比 **-4.2%** となり目標を達成することができた。

ガソリンの使用量に関しては基準年比 **+5.8%**、前年比 **+2.8%** であった。会社指針の一つである在宅業務が年々増えており、在宅契約件数の増加に伴いガソリンの使用量も増加しているため、2014年度より目標を前年度実績使用量に定めた。在宅契約件数、患者訪問回数ともに前年度からさらに増加し、社内で効率的な方法を検討したりエコ運転を心がけたりして、ガソリン使用量削減の努力を行ったが、結果としては目標を達成できなかつた。目標の設定方法に課題が残る。

灯油使用量に関しては、暖冬のため灯油燃料を使用した暖房器具を使用する機会が例年に比べてはるかに少なく、基準年比 **-80.4%**、前年比 **-46%** と大幅に目標を達成できた。また、冷暖房効率をよくするためにサーキュレーターを平野あさくら薬局、平野グリーン薬局、平野八町薬局に設置した。空気の循環はあまり体感され

なかったようだが、来局した患者様と暖房の効率的な使用について会話するきっかけになった。

ガス使用量に関しては2013年度より1薬局で冬場の暖房を灯油・ガス併用からガスだけに切り替えているため、基準年比+18.6%と目標は達成できていないが、暖冬であったため前年度同期比-4.1%であった。灯油よりもガスの方が熱効率が良いため、ガス使用量は増加したが暖房利用時のCO₂排出量は灯油・ガス使用時よりも減少している。2016年度はガスストーブを使用している平野ときわ薬局が閉局予定なのでガス使用量は大幅に減ると考えられる。

全体としては二酸化炭素排出量の基準年比-24.2%と目標を大きく達成した。購入電力に関してはエアコンフィルターの定期的な清掃などにより、さらなる削減を図っていきたい。



サーキュレーター設置の様子

2) 廃棄物排出量の削減について

項目	単位	目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
廃棄物排出量の削減 ※2	kg	5088	目標	1699			1699			1699			5088			
			実績	1614.1			1631.1			1907.2			5152.4			
			評価	○			○			×			×			
燃えるごみ	kg	1023	目標	341			341			341			1023			
			実績	312.4			373.9			335.4			1021.7			
			評価	○			×			×			○			
燃えないゴミ	kg	1073	目標	358			358			358			1073			
			実績	218.1			238			288.4			744.5			
			評価	○			○			○			○			
資源ごみ	kg	3002	目標	1001			1001			1000			3001			
			実績	1083.6			1019.2			1283.4			3386.2			
			評価	×			×			×			×			

※2011年度(基準年)の廃棄物排出量については、2012年1～3か月までの測定に基づいている。

【考察】

2013年度より、それまで燃えないごみとして廃棄していたプラスチック類をナイロン、アルミ袋、缶に分別して資源リサイクルごみとして搬出を始めた。全体量は基準年比-6%、前年比+6.4%と多く、目標を達成できなかった。項目別に見ると可燃ごみ、不燃ごみの排出量は目標を達成できている。全体としては排出量を増加させてしまったが、徹底した分別により資源回収率は向上している。今後は排出量の抑制に努めたい。



リサイクル紙の回収倉庫



ゴミの分別の徹底



3) 節水について

項目	単位	目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水総使用量の削減	㎡	464	目標	157			153			154			464			
			実績	117			126			96			339			
			評価	○			○			○			○			

【考察】

どの薬局からも漏水等のトラブルがなく、基準年比-32%、前年比-15%で目標を達成した。節水ポスターの掲示等で患者様の協力も得ながら今後も節水に努めていく。ただし、業務で一定量の水使用があり削減幅には限界がある。



節水への呼び掛け

2016年

1月：サーキュレーターで暖房効果UP

2月：COP21

3月：「いつか」のために「いつも」備えを



医薬だより



第11回 平野健康まつり

6) レジ袋の削減について

今治市の実施するレジ袋削減に係る実証実験に参加して以降、実証実験終了後もレジ袋使用量の削減に取り組んできた。患者様にも不要なレジ袋使用の削減が浸透し、継続して取り組んでいる。

7) エコピープルの育成について

【考察】

社員一人ひとりがエコへの関心を高め、知識を身につけるため、環境社会検定試験(eco検定)を受験し、現在24名が合格している。新入社員2名は日程の都合上今年度は受験を見送ったため、次年度以降eco検定受験を促して今後も継続して全員取得を目指し、取得した環境に関する知識を家庭や薬局で実践し医薬だよりを通じて外部にも発信していく。

8) 防災対応について

【考察】

12月17日に愛媛県民総ぐるみの地震防災訓練「シェイクアウトえひめ」に参加して、数年間実施していなかった避難訓練を各薬局単位で行った。薬局内の危険な個所（高い場所に置いてある物など）を確認し対応した。また薬局はガラスが多いため飛散防止フィルムを貼り、予防対策を行った。

2011年の東日本大震災、2014年の広島土砂災害など地震や気候変動によって起こる大規模災害が発生しており、もしもの時に実際にBCPを用いて早急に医薬品の供給を再開できるよう、BCPを完成させ定期的に見直しや訓練を行なっていきたい。

また、今治市中央消防署にて心肺停止状態の人への応急措置を学ぶ救命講習も2年に一度は全員が受講し、普通救命講習の修了資格を継続して維持することにより、緊急時の対応に役立てる。



火災、地震発生対応フローチャート

9) その他、薬局や家庭での個人の取り組みについて

【考察】

社外での研修会などの際には車を乗り合わせるなどしてガソリン使用量を抑えるよう取り組んでいる。また、夏場は各薬局でグリーンカーテンを設置し、楽しみながらエコ活動に取り組んでいる。マイカップ、マイ箸の利用は社員全員が行えている。



8.環境関連法規への違反・訴訟等の有無

以下の一覧（抜粋）の通り、当事業所に適用される関連法規等の遵守状況を点検した結果、違反・訴訟等はありませんでした。今後も環境関連法規と社会的欲求事項を進取し、適時改善を行なって更なる環境保全活動の制度の向上を図ってまいります。

	法令等の名称	該当する条項等	適用される施設・項目	遵守状況
基本・一般	○環境基本法	第8条	全体事項	遵守
	○地球温暖化対策の推進に関する法律	第5条	全体事項	遵守
	○労働安全衛生法	第3条	全体事項	遵守
	○環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律	第4条	全体事項	遵守
大気	○特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロン回収・破壊法)	第4条	エアコン	遵守
		第20条		
廃棄物・リサイクル	○循環型社会形成推進基本法	第11条	使用済み注射針、吸入容器 ※本薬局で出た上記の特別管理廃棄物は、今治薬剤師会の規則の元、適切に管理・運搬し、しまなみ薬局で一括して処分されている。	遵守
	○廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	第12条の2		
		第12条の5		
		第12条の5 施行令8条		
	○資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	第4条	パソコンや携帯電話などはリサイクル業者にて廃棄処分	遵守
○特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	第6条	TV、冷蔵庫、エアコン	遵守	
エネルギー	○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	事務用品全般、レジ袋、医薬便りの印刷、トイレトペーパー等	遵守
		第5条 第8条	社用車	遵守
環境の保全	○エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	第4条	本期間では該当なし	遵守
	愛媛県環境基本条例	第6条	全体事項	遵守
	愛媛県自然環境保全条例	第2条	全体事項	遵守
公害対策	愛媛県環境影響評価条例	第3条	全体事項	遵守
	愛媛県公害防止条約	第3条	全体事項	遵守
環境の保全	今治市環境基本条例	第5条	全体事項	遵守
	今治市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	第5条	全体事項	遵守
		第9条	レジ袋削減	遵守

9.環境活動計画の取組結果とその評価

項目	内容	具体的実施項目	推進責任者	評価	次年度の取組み
二酸化炭素	電気使用量の削減	①夜間・休日はパソコン、プリンター等の主電源を切る。 ②空調の適温化に努める(医療機関であるため、患者さんが不快でない温度設定、また夏場高温になる日中の適正な医薬品温度管理。) ③片づけを始める前に冷房を停止する。(装置内の熱を有効利用する)。	堤	継続して取り組めた。	チェック、アクションを意識して行う。
	ガソリン使用量の削減	①定期的にタイヤの空気圧を点検する ②急発進・急ブレーキを防ぐ	堤	在宅訪問件数増加のため使用量は増加したが、業務の効率化が進んでいる。	在宅業務の効率化を進める。達成に意欲の持てる目標を設定する。
	灯油使用量の削減	①片づけを始める前にストーブを停止する。(装置内の熱を有効利用する)。	堤	継続して取り組み、その日の気温に合わせて暖房器具を使用した。	継続して取り組む。
廃棄物	一般廃棄物の削減	①グループウェア・メールの利用等、文書の電子化に取り組む。 ②紙の利用、封筒の再利用等を行う。 ③医薬品購入に際して、包装単位を検討し、廃棄する空箱・段ボール等の量を減らす。 ④適正な在庫管理により、廃棄量を減らす。	崎山	分別の徹底や紙類利用が習慣化し、資源化や廃棄物削減を進められた。	継続して分別の徹底、給排水量の削減に取り組む。
水給使用量	如水	①加水ポスターを掲示する。 ②手洗い、洗物、歯磨き等においては、日常的に如水を励行する。	井川	継続して取り組めた。	継続して取り組む。
グリーン購買	事務用品のグリーン購入	①新しい事務用品を購入する際にはグリーン製品があるか確認し、出来る限り購入する。 ②グリーン製品に切り替えた消耗品は継続して購入する。	長橋	切り替えた消耗品は100%購入を継続した。新規開局時に購入する電化製品はグリーン購入対象商品を選択できなかった。	継続して取り組む。
組織本来の取組み	医薬便り等での啓蒙	①在宅訪問した際に、エコに関するアドバイスをする。 ②医薬だよりのエコに関するページを毎月掲載する。 ③平野健康まつりでエコブースを設置し平野での環境への取組みや、廃棄が環境に与える影響について知ってもらう。	梅村 住吉	医薬だよりの掲載を継続して行えた。エコブースや廃棄物の設置も行った。	継続して、医薬だよりに記事を掲載する。廃棄整理を患者さんに啓蒙し家庭廃棄解消に取り組む。
レジ袋の削減	レジ袋使用量削減	①包装の簡易化やエコバック持参の呼びかけを行う。	森松	継続して取り組めた。	継続して取り組む。
エコビールの育成	eco検定合格	①社員全員が環境社会検定試験(eco検定)の合格を目指す。	森松	受験なし。	環境の知識を活かした患者さんとのコミュニケーションを図る。
防災対応	非常時の対応訓練	①防災対応マニュアル・フローチャートを活用して防災訓練を実施する。 ②緊急時連絡網を作成し、非常時の訓練を行う。	松田	避難訓練を実施した。BCPは完成していない。	防災訓練を実施する。
その他	薬局や家庭での個人の取組み	①マイバックやマイ箸を携帯する。 ②太陽光発電の設置や低炭素車の購入を推奨する ③薬局や各家庭でのグリーンカーテンを設置する	松田	各薬局でグリーンカーテンを買った。	継続して実施する。

計画を立て、四半期ごとに達成状況を見ながら各項目に取り組めた。特に、適正な薬品温度管理のため夏場は休日でも冷房をかけることをあらかじめ計画していたので、他の部分で意識的に節電を行うことができた。

来年度は中期目標の設定時期であり、この3年間の取り組み状況を踏まえ、さらに2015年度に新規開局したことや2016年度に1薬局閉局することを盛り込んで次期計画を立てていく。

10.代表者による全体評価

環境レポートの4回目の更新にあたって、改めて環境経営に取り組む意義について振り返ってみたい。

昨年11月世界気象機関(WMO)は2015年の平均気温が観測史上最高になる見通しだと発表した。地球の温度上昇は鮮明で、温暖化ガスの増加が異常気象や自然災害を招いているとして、国際社会に本格的な対策を求めている。世界銀行も昨年11月に報告書を発表、温暖化対策を怠り、干ばつや熱波の多発を放置すれば、世界の作物収穫量は2030年までに5%減少し、食料価格の高騰を招くと分析している。昨年12月開かれたCOP21では、条約に参加する196か国の「全員参加」での合意となった、歴史的な一歩といえる。目標達成の義務(罰則規定)がないことなど課題も残るが地球環境問題解決の大きな前進になるよう、各国の真剣な対応が問われている。

「エネルギー白書2015」によれば、日本のエネルギー自給率は6%、再生可能エネルギーは4.3%となっており、世界で急速に再生可能エネルギーの普及が進んでいる中で遅々とした歩みである。国際再生可能エネルギー機構(IRENA)は「エネルギー転換を進めることは、地球温暖化対策に役立つだけでなく、世界的に経済や健康、雇用面での恩恵がある」としている(中同協48回総会議案)

環境理念に沿って、環境方針を実践する、その小さな積み重ねが地球温暖化対策に繋がっていくこと、薬局における一つのロールモデルを担っているという自覚を持って息長く続けていきたい。

さて、今期は暖冬のため暖房の使用量が減り、温室効果ガス排出量が前年に比べて4.2%減少させることができた。

一方、在宅業務の進展により車で出掛ける機会が増え、ガソリン使用量が前期に続いてアップしている。目標変更とともに、その中でどう減らすか？方針化が求められる。残薬解消の取り組みが16年の報酬改定でフィーがつくというインセンティブが得られた。プレアボイドへの参加で具体的なアウトプットの計数化が可能と考えている。

熊本大地震は、中央構造線の上にある愛媛県で仕事し生活している私たちに、東南海トラフだけでない差し迫った危機感を擁かされものであった。BCPの徹底、訓練を具体化したい。